

カリキュラム・マップ

【ワークシート:DP・CPの対応関係及び学習の内容・方法】

社会学学士教育プログラム (社会学コース)

ディプロマ・ポリシー(DP)

(1) 学習教育目標【A】

人間の行動、生き方、生活問題の発生過程及びその解決方法などの社会生活の諸側面を理論的・実証的に捉える能力を身に付ける(論理的思考力)

カリキュラム・ポリシー(CP)

(2) 学習教育目標【A】を達成するための取組
〈授業の構成(教育内容・方法)、科目間の順次性・関連性、科目名〉

社会学の専門的な学修に先立ち、共通教育科目社会系科目「現代社会のしくみ」をなるべく低年次で履修することによって、社会生活の成り立ちについて、複眼的な視点を養っておくことが望ましい。
 1年次科目「基礎演習Ⅰ」では、大学で学ぶための基礎的な技能の演習を行う。1年次後期から2年次前期にかけて、人間の行動、生き方、生活問題の発生過程などの社会生活の諸側面を社会構造と主体との関係性及び意味付けの観点から、「社会学原論」Ⅰ・Ⅱにおいて理論的に学ぶ。
 2年次で、「社会調査法」Ⅰ・Ⅱでそれを実証的に明らかにするための方法について講義形式で学びながら、「社会学実習」Ⅰ・Ⅱを通じて、実際の調査・フィールドワークを行った上でデータ分析を行い調査報告書を作成するという実習を行うことで、人間主体と社会構造を実証的に把握することを学ぶ。
 3年次では、各自の卒業論文に向けた準備を開始する、「専門演習」Ⅰ・Ⅱを履修し、ゼミ論・卒論に向けての研究への取り組み方、研究発表の方法を学ぶ。さらに、4年次において、「卒業研究」Ⅰ・Ⅱを履修し、卒業論文に向けてのテーマの設定、リサーチの技法などについて学ぶとともに、文献の読み込みやフィールドワークを行う。そして、卒論を執筆する。
 こうした卒業論文の執筆を通して、人間主体と社会構造の相互関係を理論的・実証的に分析する社会学的能力を学修する。

(3) 学習教育目標【A】を達成するために履修する科目一覧

区分(選択式)	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次(選択式)	学期(選択式)	授業形態(選択式)
必修(専門)	HS101	基礎演習Ⅰ	2	1年次	前期	演習
選択必修(専門)	SOC111	社会学原論Ⅰ	2	1年次	後期	講義
選択必修(専門)	SW100	社会福祉原論Ⅰ	2	1年次	後期	講義
選択必修(専門)	MCM170	マス・コミ原論Ⅰ	2	1年次	後期	講義
自由選択(専門)	SOC216	社会調査法Ⅰ	2	2年次	前期	講義
自由選択(専門)	SOC217	社会調査法Ⅱ	2	2年次	後期	講義
選択必修(専門)	SOC211	社会学原論Ⅱ	2	2年次	後期	講義
選択必修(専門)	SOC212	国際比較社会学Ⅰ	2	2年次	前期	講義
選択必修(専門)	SOC213	国際比較社会学Ⅱ	2	2年次	後期	講義
選択必修(専門)	SOC214	社会学実習Ⅰ	2	2年次	前期	実習
選択必修(専門)	SOC215	社会学実習Ⅱ	2	2年次	後期	実習
必修(専門)	SOC301	専門演習Ⅰ	2	3年次	前期	演習
必修(専門)	SOC302	専門演習Ⅱ	2	3年次	後期	演習
必修(専門)	SOC401	卒業研究Ⅰ	2	4年次	前期	演習
必修(専門)	SOC402	卒業研究Ⅱ	2	4年次	後期	演習
自由選択(共通)	社12	現代社会のしくみ(共通教育)	2	1年次	前期/後期	講義

初年次
↓
高年次

合計単位数 32

カリキュラム・マップ

【ワークシート:DP・CPの対応関係及び学習の内容・方法】

社会学学士教育プログラム (社会福祉学コース)

ディプロマ・ポリシー(DP)

カリキュラム・ポリシー(CP)

(1) 学習教育目標【A】

人間の行動、生き方、生活問題の発生過程及びその解決方法などの社会生活の諸側面を理論的・実証的に捉える能力を身に付ける(論理的思考力)

(2) 学習教育目標【A】を達成するための取組
<授業の構成(教育内容・方法)、科目間の順次性・関連性、科目名>

1年次科目「基礎演習Ⅰ」では、大学で学ぶための基礎的な技能の演習を行い、「社会福祉原論Ⅰ」では、社会福祉の概念・構造・歴史について基礎知識・理解を深める。
 2年次科目の「社会福祉原論Ⅱ」では、社会意識、集団、文化、社会変動に関する理解を深める。「社会調査法Ⅰ」で社会調査の理論と技術の修得により実証的に捉える能力の基礎を養う。
 また、生活問題発生の主たる要因である貧困について、「基礎社会保障法」「社会保障論」では現代社会における貧困問題への予防対策を含めた社会保障一般に関する基礎的知識を、「公的扶助論」では、具体的な貧困状況及び生活保護を中心とする社会的対策について学ぶ。
 3年次科目の「医学概論」では生活問題発生の主たる要因の一つである疾病に関して、疾病の基礎知識等を学ぶ。この一連の生活問題における主要因に関連する講義を通して、人間の行動、問題の発生過程及びその解決方法など現代社会の諸側面を理論的・実証的に捉える能力や問題解決能力が培われていく。
 加えて、2年次後期より提供される「ソーシャルワーク演習Ⅰ」「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」、3年次科目の「ソーシャルワーク実習Ⅰ」を通して学んだ知識を、自らも実際の現場に身を置き、実社会の現実と付き合わせて理解する体験をもつことで、実社会でもこれらの知識を応用する力が育まれる。
 なお、共通教育科目(「現代社会のしくみ」)については、社会生活の諸側面について理論的・実証的に捉えるための視点や基礎的知識づくりの準備となる講義と位置付けられるため、1-2年次の段階での履修が望まれる。

(3) 学習教育目標【A】を達成するために履修する科目一覧

区分(選択式)	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次(選択式)	学期(選択式)	授業形態(選択式)
自由選択(共通)	社12	現代社会のしくみ	2	1年次	前期/後期	講義
必修(専門)	HS101	基礎演習Ⅰ	2	1年次	前期	演習
自由選択(専門)	LAW291	基礎社会保障法	2	1年次	後期	講義
選択必修(専門)	SW100	社会福祉原論Ⅰ	2	1年次	後期	講義
選択必修(専門)	SW201	社会福祉原論Ⅱ	2	2年次	前期	講義
自由選択(専門)	SW209	公的扶助論	2	2年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	SW223	社会保障論	2	2年次	前期	講義
自由選択(専門)	SOC216	社会調査法Ⅰ	2	2年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	SW226	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2	2年次	後期	演習
自由選択(専門)	SW229	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2	2年次	後期	演習
自由選択(専門)	SW304	医学概論	2	3年次	後期	講義
選択必修(専門)	SW224	ソーシャルワーク実習Ⅰ	2	3年次	前期	実習

初年次

高年次

合計単位数 24

カリキュラム・マップ

【ワークシート:DP・CPの対応関係及び学習の内容・方法】

社会学学士教育プログラム（社会福祉学コース）

ディプロマ・ポリシー(DP)

(1) 学習教育目標【C】

市民社会の発展や生活問題・福祉問題の解決に貢献する能力を身に付ける(問題解決力)

カリキュラム・ポリシー(CP)

(2) 学習教育目標【C】を達成するための取組
(授業の構成(教育内容・方法)、科目間の順次性・関連性、科目名)

1年次に履修する「社会福祉原論Ⅰ」を通して、市民社会の発展や社会福祉の諸問題についての基礎的な知識を身に付ける。
 続く2年次以降の「基礎演習Ⅲ」や「社会福祉原論Ⅱ」「地域福祉の理論と方法」を通して、市民社会や社会福祉の諸問題についての応用的な知識を習得する。その上で、「ソーシャルケースワークⅠ」「ソーシャルケースワークⅡ」「ソーシャルグループワーク」、さらに3年次の「ソーシャルワーク演習Ⅲ」では、1年次からの基礎知識を基盤に、社会福祉援助技術の基礎的理解と技術の習得を行い、生活問題・福祉問題解決に貢献できる具体的な能力や技術を養う。
 「児童福祉論Ⅰ」「児童福祉論Ⅱ」「障害者福祉論」「高齢者福祉論」「社会福祉特殊講義Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の科目では、対象者別の福祉課題やその解決方法について理解を深め、市民社会における生活問題や福祉問題に対する根源的な理解のための基礎を形成する。
 また、「社会福祉運営管理論」並びに「地域福祉の理論と方法」では、生活問題・福祉課題の構造的な理解と、制度に基づく社会福祉組織の運営管理を行うための基礎知識を身に付ける。これにより、直接援助による問題解決だけでなく、組織運営や行財政管理による問題解決能力についても育まれることが期待される。
 さらに、「保健医療概論」「権利擁護を支える法制度」「刑事司法と福祉」の講義を3年次に履修することで、既に履修した専門科目と関連付けながら、障害者や高齢者、生活困窮者などの就労ニーズや保健・医療ニーズへの理解を深め、対象者の権利を守り、課題解決に尽力するための基礎的な能力を養う。また対象者の権利擁護、成年後見、更生保護をめぐる課題について、現場実践の経験もある各分野の専門家の講師による講義を履修することで、課題に対する基礎的理解と問題解決のための技術や知識を身に付けることを目指す。
 4年次の「人体構造及び日常生活行動に関する理解」「加齢と障害に関する理解」では、生活問題や福祉問題を有する対象者の生活や加齢・障害・疾病等についての理解を深める。
 3・4年次科目の「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」の卒業論文作成で、学生は、1年次から4年次までに培ってきた自律学習能力、論理的思考能力、複眼的分析能力、そして問題解決力を発揮し、市民社会の発展や生活問題・福祉問題の解決に貢献できる能力を身に付ける。

(3) 学習教育目標【C】を達成するために履修する科目一覧

区分(選択式)	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次(選択式)	学期(選択式)	授業形態(選択式)
選択必修(専門)	SW100	社会福祉原論Ⅰ	2	1年次	後期	講義
必修(専門)	HS103	基礎演習Ⅲ	2	2年次	後期	演習
選択必修(専門)	SW219	地域福祉の理論と方法	4	2年次	通年	講義
選択必修(専門)	SW201	社会福祉原論Ⅱ	2	2年次	前期	講義
選択必修(専門)	SW202	ソーシャルケースワークⅠ	2	2年次	前期	講義
自由選択(専門)	SW203	ソーシャルケースワークⅡ	2	2年次	後期	講義
自由選択(専門)	SW205	児童福祉論Ⅰ	2	2年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	SW206	児童福祉論Ⅱ	2	2年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	SW200	障害者福祉論	2	2年次	後期	講義
自由選択(専門)	SW216	社会福祉運営管理論	2	2年次	後期	講義
自由選択(専門)	SW220	ソーシャルグループワーク	4	2~3年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	SW228	ソーシャルワーク演習Ⅲ	2	3年次	後期	演習
自由選択(専門)	SW210	高齢者福祉論	2	3年次	前期	講義
自由選択(専門)	SW217	保健医療概論	2	3年次	後期	講義
自由選択(専門)	SW310	権利擁護を支える法制度	2	3年次	前期	講義
自由選択(専門)	SW311	刑事司法と福祉	2	3年次	後期	講義
自由選択(専門)	SW400	人体構造及び日常生活行動に関する理解	2	4年次	前期	講義
自由選択(専門)	SW401	加齢と障害に関する理解	2	4年次	後期	講義
自由選択(専門)	SW402	社会福祉特殊講義Ⅰ	2	4年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	SW403	社会福祉特殊講義Ⅱ	2	4年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	SW404	社会福祉特殊講義Ⅲ	2	4年次	前期/後期	講義
必修(専門)	SOC401	卒業研究Ⅰ	2	3年次	後期	演習
必修(専門)	SOC402	卒業研究Ⅱ	2	4年次	前期	演習

初年次

高年次

合計単位数 50

カリキュラム・マップ

【ワークシート:DP・CPの対応関係及び学習の内容・方法】

社会学学士教育プログラム (マスコミ学コース)

ディプロマ・ポリシー(DP)

(1) 学習教育目標【A】

人間の行動、生き方、生活問題の発生過程及びその解決方法などの社会生活の諸側面を理論的・実証的に捉える能力を身に付ける(論理的思考力)

カリキュラム・ポリシー(CP)

(2) 学習教育目標【A】を達成するための取組
(授業の構成(教育内容・方法)、科目間の順次性・関連性、科目名)

1年次から4年次までの間で、共通教育科目(人文社会)の「マスコミと社会」を受講することが望ましい。「マスコミと社会」と「マスコミ原論I,II」を受講することにより、基礎的な履修事項を相互補完し学ぶことでマスコミに関する知識を得、理解を深める。1年次科目の「基礎演習I」で、コミュニケーションスキル、レポート・論文執筆の基本的な知識、発表の方法を習得する。1年次後期の「マスコミ原論I」と2年次前期の「マスコミ原論II」では、マス・メディアの概観・社会的機能と影響を学び、「社会学原論I」では、社会意識、集団、文化、社会変動に関する基礎的知識・理解を深める。また、「社会福祉原論I」では、社会福祉の概念・構造・歴史について基礎知識を固める。1年次後期と2年次前期で以上の科目群を履修することで、マスコミュニケーション学、社会学、社会福祉学の学際的な観点から社会生活の諸側面を理論的・実証的に捉える能力を高めていくための基盤をつくる。2年次科目の「地域と平和」では、ジャーナリズムと地域平和形成の諸問題について知見を深め、問題の発生過程及びその解決方法について考える。同じく2年次科目の「マスコミ調査分析」では、マスコミの役割分析、世論調査及び諸問題の研究において分析力を高め、「社会調査法I」で社会調査の理論と技術を修得する。2年次科目の「マスコミ史」では、マス・メディアの歴史的発展及び機能変遷について学び、「マス・コミ特殊講義I」では、ジャーナリズム・コミュニケーション研究について学ぶ。「マス・コミ特殊講義II」においてはメディアの現場からのジャーナリズム論として現役のジャーナリストから取材・編集・報道について学び、知見を深める。3年次科目の「地域メディア論」では、明治～昭和期の沖縄の言論メディアについての考察を深める。この一連のマスコミの歴史に関連する講義において、マスメディアの発展過程を歴史的・社会的背景事情に鑑みて検証しその社会的役割や影響を考察する過程で、人間の行動、問題の発生過程及びその解決方法など現代社会の諸側面を理論的・実証的に捉える能力や問題解決力が培われていく。そして、2年次科目の「マスコミュニケーション理論」でマスコミの社会的影響に関する諸理論を学習する際に、これらの論理的思考能力と問題解決能力が発揮され、効果的な講義が展開されるとともに、実社会でもこれらの知識を応用する力が育まれる。2年次科目の「映像論」では、ドキュメンタリーやフィクションの映像分析を通して、社会生活の諸側面を理解し、人間の行動や生き方についての考察を深め、生活問題の解決方法を模索する力を育む。

(3) 学習教育目標【A】を達成するために履修する科目一覧

区分(選択式)	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次(選択式)	学期(選択式)	授業形態(選択式)
必修(専門)	HS101	基礎演習I	2	1年次	前期	演習
必修(専門)	S-170	マス・コミ原論I	2	1年次	後期	講義
選択必修(専門)	S-270	地域と平和	2	2年次	前期/後期	講義
必修(専門)	MCM-271	マス・コミ原論II	2	2年次	前期	講義
選択必修(専門)	SOC111	社会学原論I	2	1年次	後期	講義
選択必修(専門)	SW201	社会福祉原論I	2	1年次	前期	講義
選択必修(専門)	SOC216	社会調査法I	2	2年次	前期	講義
選択必修(専門)	MCM-274	マス・コミ史	2	2年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	MCM-275	マスコミ調査分析	2	2年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	MCM-280	マスコミ特殊講義I	2	2年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	MCM-281	マスコミ特殊講義II	2	2年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	MCM-384	地域メディア論	2	3年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	MCM-276	マスコミュニケーション理論	2	2年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	MCM-277	映像論	2	2年次	前期/後期	講義
自由選択(共通)	社13	マスコミと社会	2	1年次	前期/後期	講義

初年次

高年次

合計単位数 30

カリキュラム・マップ

【ワークシート:DP・CPの対応関係及び学習の内容・方法】

社会学学士教育プログラム (マスコミ学コース)

ディプロマ・ポリシー(DP)

カリキュラム・ポリシー(CP)

(1) 学習教育目標【B】

現実の社会で生じている様々な現象を多種多様な角度から分析し、社会の仕組み・変動を見極める能力を身に付ける(分析力)

(2) 学習教育目標【B】を達成するための取組
(授業の構成(教育内容・方法)、科目間の順次性・関連性、科目名)

1年次後期の「基礎演習II」で現実の社会で生じている様々な現象を多種多様な角度から分析し、社会の仕組み・変動を見極める能力を身に付ける。2年前期の「マスコミ調査分析」で「基礎演習I」で習得した知識、技法を活かし、マスコミの役割分析、世論調査及び諸問題の研究に取り組む。また、1年次前期の「基礎演習I」で習得したコミュニケーションスキル、レポート・論文執筆の基本的なルール、プレゼンテーションの技法は、2年次前期の「マスコミ実習I」の新聞制作過程における取材前のリサーチ、企画会議、取材、広告取り、記事執筆、校正、業者とのコミュニケーションを図る全ての行程で活かされ、より実践的な場でこれらのスキルが磨かれる。さらに、「新聞英語I」では、英字新聞や他の英字テキストを読み解く力を養い、「新聞英語II」では、英文記事を書くスキルを身に付ける。海外の新聞記事や書籍を英語で読むことにより、コミュニケーションスキルを高めると同時に多様な価値観に触れ、異文化理解を深めることができる。共通教育科目の「大学英語」、「英語購読」は新聞英語I,IIを受講予定の学生は受講予定前あるいは同時期に受講することが望ましい。

3年次前期の「情報と社会I」では、「基礎演習I、II」、「マスコミ調査分析」、「マスコミ実習I」で鍛えた調査力と分析力をさらに向上させ、世論調査の方法・技術を習得する。3年次後期の「情報と社会II」では、コンピュータを利用した調査の分析で情報リテラシーを習得する。以上の科目群からの講義受講により、学習教育目標の「現実の社会で生じている様々な現象を多種多様な角度から分析できる能力」を修得できる。

(3) 学習教育目標【B】を達成するために履修する科目一覧

区分 (選択式)	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次 (選択式)	学期 (選択式)	授業形態 (選択式)
必修(専門)	HS102	基礎演習II	2	1年次	後期	演習
必修(専門)	MCM-272	マスコミ実習I	2	2年次	前期	実習
必修(専門)	MCM-273	マスコミ実習II	2	2年次	後期	実習
選択必修(専門)	MCM-275	マスコミ調査分析	2	2年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	MCM-278	新聞英語I	2	2年次	前期/後期	演習
自由選択(専門)	MCM-279	新聞英語II	2	2年次	前期/後期	演習
選択必修(専門)	MCM-381	情報と社会I	2	3年次	前期	講義
選択必修(専門)	MCM-382	情報と社会II	2	3年次	後期	講義
必修(共通)	B外101	大学英語	4	1年次	前期	講義
必修(共通)	外102	英語購読演習中級	2	1年次	後期	講義

初年次
↓
高年次

